

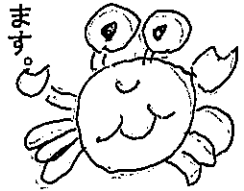
ゆめサロン

だより

平成 28 年 8 月 2 日
島根県鹿足郡吉賀
町ゆめサロン No.323

暑い八月
ですね。

皆様こんにちは
お元気のことと思います。



悲しいニュースで心を痛めたところ
です、千代の富士さん気の毒でしたね。
暑い中皆さん大変と思いますが、無理
なさらないように、お大事になさいま
せ。涼しい秋がもうすぐです。

大変でした。



我が家のペットが高齢でこの暑さに
耐えきれず、体調を崩しました。家中
閉め切って留守にしたのがいけなかつ
たと反省しています。体調が悪くなる
と飼い主の方に近寄らず、甘える

事もしません。餌も食べず、水も飲みま
せん。あるこにいつも言い聞かせたこと
は、

「私より先に死んでね。私がいなくな
った後でさみしい思いをしないでね」
と言いました。でも、何も食べないで、

クターと寝ている姿はやりきれない思
いでした。それをフェイスブックに乗せ
ると長男の先輩の方が病院に連れて行
くようにと、長男にメールをくださった
ようで、早速バスケットに入れて車に乗
せました。まんじりともせず乗っている
姿はやり切れません。一時間位して病院
に到着しました。体重もしっかりあるし
熱も平熱と言われ注射をしてください
ました。オオカミのようにうう、ううと
うなっていました。次の日から猫用の缶
詰めを食べますが、まだ元気が出ませ
ん。

不思議なことにお風呂への誘導はして
くれます。寝るときは私のところにこな
いのです。早く元気になりますよう
に……



猫との日々で



その辛さは、人を思いやるものと一
緒でした。抗がん剤を点滴してもら
って、寝そべっている私に、みもも
でささやく様にそっと触れてくれた
ある子でした。これは猫だから全部
わかってきているのではない……
と自分に言い聞かせながらも、わか
ってくれなくてもいい、猫でも良い
私と寄り添っていてくれるだけで
と思ったものでした。

私の復活はあるこのおかげでした
今、心を込めて育てやります。免疫力
が無くなって、ストレスもありしょ
っちゅう体を掻き毟るものだから
肌が傷つきます。ペットクリニック
で飲み薬をいただきました。毎日窓
の下のテラスで外をじっと見ていま
す。いつかは別れるのですから自然
な送り方をしてやりたいと思いま
す。夏の朝、今日も朝五時まえ、やさ
しく鳴いて起こしてくれました。何
といっても、動物は私を裏切りませ

ん。これから……ある子との日々を思
い出しながら、人間として、生きてい
きます。といつてもある子はまだ生き
ています。ある子に頼らない人生を今
から考えましょう。しょぼんとしてい
るあるこですが、すずめのことをもつ
かまえておりました。というか、抱い
ていました。勝手に胸に飛び込んでき
たようです。早い朝に、朝のかなか
ゼミがないています。



あるこです

暑い毎日ですが皆様如何お過ごしで
しょうか。あるこは暑さにまいいまし
た。何も食べません。そんな時飼い主
は、煩く、えらいの？ある子どうした
の？といひます。ある子は黙ってしっ
ぽをゆらゆらさせて返事をしてやりま
す。その繰り返しでした。四日目に私
は岡山から連れて来られた時に入って
来たバスケットに入れられペットクリ
ニックにつれていかれ痛い注射をされ
ました。お蔭で元気になったのです。

ゆめサロン

だより

平成 28年 8月 16日
嶋根家鹿足郡吉賀
町ゆめサロンNo.324

暑いです。

皆様こんにちは

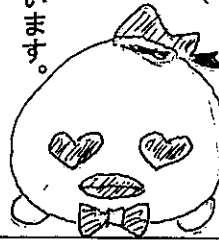
お元気のことと思います。

お盆は如何でしたか。

私は心を込めてご先祖様をお迎えし、

今日お送りする気でいます。

でも、あまりの暑さに、迎え火も送り火も失礼しました。仏様の前につるした提灯が窓からのそよ風に、優しく揺れておりました。



猫のあるこ



体調を崩してばてて居ましたが、ペットクリニックさんのお陰で復活させていただきました。もう年だから、

お医者様に連れて行くなどしないことにしようと思いましたが、長男が大学時代の先輩からお医者様にみて頂く様にアドバイスいただいたというので、その気持ちになりました。年だからというのは失礼ですよ。反省しました。サロンのメンバーさんである方に、話を聞いていただき、私も励まされました。暑くて焚火の側にいるような日、猫と言えどもあるこはさぞ苦しかったことでしょう。まず、一安心です。



投稿

ゆめサロン老止女さんより

老止女(おとめ)のひとりごと

私の昭和

八月になると、テレビは必ずといっていい程、戦争に関係した番組を放映する。先日、私は、「戦艦武蔵」次の晩は、「戦艦大和」と続けて見た。どちらもバラバラになった姿で海底に眠っていた。遠い昔、動員学徒だった頃、呉の海軍

工廠内のドックに入っていた「大和」を見たことがある。それはそれは大きくて、勇ましくて、これこそ海に浮かぶ城だと思ったものだ。船首の菊の御紋が日光に輝き、実に堂々とした姿だった。

又、潜水艦出撃を見送ったこともある。軍艦旗をなびかせながら、帽子をふりながら棧橋から離れていった。

わが家の庭の牡丹の木の下に二十センチ位の不発弾が落ちていたこともある。

廊下のガラス、カーテンを突き破り、高射砲の砲片が、座敷にかかっていた書の種類につきささっていたこともある。

一番危険な所に行くんだから、いつ別れになるかもわからないと、母は私を朝送り出す時、後姿が見えなくなるまで立っていたと話していた。

そして終戦。盆踊り、花火大会、旅行など楽しい行事が続くお盆、七十一年たった今でも、私は盆の行事より終戦記念日の思いの方が

強く、忘れられない。”もう書くな”と、脳が命令するが、思い出いっばいの私の昭和の一部である。

あの頃の乙女(おとめ)も、今では足腰の痛い老止女(おとめ)となった。

さ、明日から気分をかえて動こう。「しあわせなら手をたたこうパンパン」

歌いながら、笑いながら動いていこう。 — 終 —

お忙しい中ご執筆

ありがとうございます。



あるこです。

皆様お元気ですか。暑い毎日です。熱中症も怖いです。飼い主が留守をするとき戸締りをしすぎてあるこはえらいめにあいました。まだ完全には治りません。皆様お大事になさって下さい。



ゆめサロン

だより

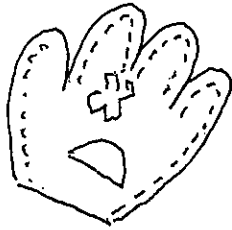
平成 28 年 9 月 9 日
島根県鹿足郡吉賀
町 ゆめサロン
325wa 25 号

涼しい風が心地いいですね

皆様お元気ですか。

このところ暑さと、我が家のもう一匹の仲間の不具合で失礼しておりましたが、涼しくなったから少しお互いに元気を出そうと思います。また宜しく願います。

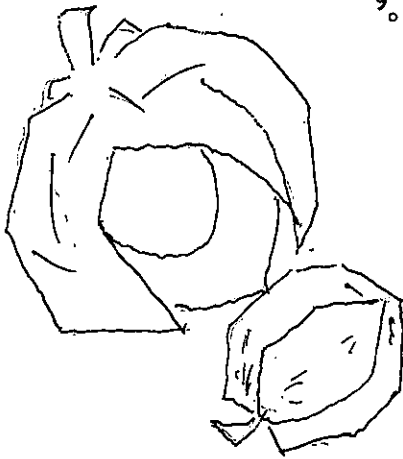
ミョウガ



この前、我が家の山すそを夫がかってくれたのです。その後を見れば赤紫色のミョウガが沢山生えていました。その先には黄色い花をつけていていかにもお料理にあいそう

です。早速取って帰りました。次の日も、その次の日も二十個くらいとれるのです。娘に言いますと欲しいとのことなので、送りました。娘は塩もみして、梅干しの中に浸けたら更にきれいになったと言って電話してきました。伝統的なやりかたを再現してくれたようです。

ミョウガ畑にはまむしがいることがあると聞きますが、葉っぱを刈ってしまえば、マムシがいらないことを確かめられるからいいですね。私はせっせと毎日ミョウガを探りに行っています。娘に送っています。送りに行くのは夫です。これこそ秋の便りです。蔵の前に夏のミョウガがあるので、それに続けて、秋のミョウガを植えようと、小さな楽しみを持っています。



わが家の

ペット



それは年取った猫です。十七歳、人間にしたら八十歳をこえているらしいのですが羨ましい事には猫だからしわもシミも見えません。

でも今年の暑さはさすがに堪えたらしく、食欲は無く、毛は抜けてしよぼーんとして、玄関の横のテラスでじーっとしてすこしておりました。鳴き声は低い声で「あおん」といいます。近所の雄猫が来てトレイに入れた餌をたべていきます。ペット病院にいくと、十七歳といっても元気はあるといわれました。お医者さんを、低い声でうーうーと脅すようにいうのです。注射を一本していただきました。その後は飲み薬をだしていただきました。そんな猫ですが、飼い主のおふるの頃になるとお風呂の前に座って飼い主をお風呂に誘導します。飼いたい主の娘がすきで里帰りしていた

娘が行ってしまった後は、娘が寝ていた布団にすがって寝ていました。そんなに弱っていてもトイレにはよたよたして行きます。八月後半から居場所をかえ、離れに一人で住んでいます。私と寝るのはいつのことでしょう。まだ八十年代、まだ若いと飼い主は思います。

あることです。

皆様こんにちは



暑い夏でしたがお変わりありませんか。あるこは大分食欲も出てきました。いまにテブ猫あるこになるでしょうよ。

ところでみなさん、こんなに暑くても、嬉しい話はどうどんありますね。また偉い人たちが癌の治療の方法を考えて下さったのですね。あるこには難しいことは解りませんが皆さんのご健康を祈ります。



ゆめサロン

便り

平成 28 年

9 月 16 日

吉賀町ゆめサロン

No.326,

彼岸花が

咲き始めました

皆様お元気ですか。

あたりの緑と黄金色の稲を縁取る様に彼岸花の紅い色とのコントラストはこの季節の田舎の色です。まだ日中は三十度近くなりますが、時折通る風にはほっとします。

皆様お体に気を付けて良い秋を満喫しましょう。

読書から



姑の部屋から発見した”年齢をとるということ”と言う本を読んできました。それは、昭和五十四年に出されたかなり古い本だったの

ですが、お茶ノ水女子大の講師心理学専攻の秋山達子先生が書いておられる序文にひかれましたので抜粋して見ます。

一読して、ああ年齢をとることは素晴らしいと思つた。社会について自分について、つまり社会的動物である人間の一生について、これほど率直に語ることが出来るのは、老人ではない。どんなに文明がすすんでも、医学が発達しても、生命ある存在には必ず寿命がある。ひとはいつかは老い、死と直面しなければならぬ。しかし、現代の世相は老いや死は存在しないかのように、目先の利だけを追つて空回りしている。人生はもつと長く深い目でかんがえるべきではなからうか。

ここに人生のゴールに近く、しかもまだ毎日の生活の中で、喜び、怒り、悲しみ、楽しんで暮らす老賢人の言葉がある。老若男女を問わず傾聴すべきであろう。(抜粋より)



うちのペット

その様



はなれにすみかを代えたその猫は夜中には餌を食べに帰り、トイレを済ませてまたはなれにいきます。はなれはバス、トイレ洗面所、だいたいどころがついて、つまり二LDKです。昨日探しに行ったら洗面所の洗面台の中で寝ていました。姑が読んでいた本がたぐさん立ててあり、その横に一升瓶の大きさのドレスを着た人形を飾っています。これも姑がつくったものです。近所の雄猫が怖くて隠れたつもりだったのでしょう。人形とならんで座っており



ました。雄猫はそれも知らずにゆうゆうと餌を食べて行きました。ペットが元気になる様に祈る飼い主です。すっかり老いてしまった猫です。たくさん事を教えてくれた猫に老いと言う事を学びました。

あることです。



皆様こんにちは、お元気ですか。ある子はこの夏は熱中症らしきものに悩まされました。

まだ食欲がなくて飼い主が買ってくれるものがほしくないの近所の

たまおくんは食べさせますがあいつは猫というより、もはや豚ですね。私は飼い主が、シャワーをさせてくれるのが楽しみです。でもそのたびに痩せたねーといわれるのがたまりません。飼い主はもつぱら太るのみです。飼い主のツレはスマートになっています。「どうしたのか」ではお元気で……

ゆめサロン

便り

平成 28 年

9 月 17 日

吉賀町ゆめサロン

No. 327

九月の定例会

報告



台風が来週には来るかもしれない、暑くない、という不安な日でしたが、暑い、けれどもいい天気の日でした。今年はずいぶん早いのかあちこちに曼珠沙華の華やかな色が目立ちます。メンバーさんの明るい笑顔、保健師さんと訪問看護の看護師さんがこやかに迎えて下さり、皆さんが持ち寄られたお茶菓子を戴きながらの会は病気を経験した人たちの集まりとは思えない雰囲気でした。行政のかたのお陰だと感謝します。

経過として

参加者の経過報告や現状を話したり、看護師さんが大阪に研修に行か



れた報告をしていただいたり、大分涼しくなったけどこの時期体調を壊しやすいので気を付けるようにというお話しや保健師さんからは、じか熱、はしかなどの病気への注意喚起などをして頂きました。また玉造温泉への旅行をお友達とされた方のお話しを楽しく拝聴して心安らぐ時間でした。

投稿いただきました。



ゆめサロン 老少女(おとめ)

ひとりごと 私の昭和 3,

○学校は焼夷弾爆撃で焼けてしまった。終戦で、勉強が出来るようにはなつたものの場所がない。通知があるまで自宅待機となる。

私は、父の命令通り島根県にいた。やがて呉市にもアメリカさんが進駐してきた。学校からの通知が来たので母が迎えに来て、いっしょに帰った。灯管制がなくなつたので、電気がつけられる。幸い焼けなかったわがやの勉強部屋に電気がパツ！この時の嬉しさは忘れられない。

○学校は、公園の外回りにたてられていた焼け残りの工員宿舎。たたみ

敷きに黒板だけ。長テーブルの前に正座して勉強が始まった。



何を学んだやら、さっぱり思い出せない。

○昭和二十三年十二月二十五日の早朝、冬休みになり、両親と私は駅前の通りを歩いてた。まだ暗い午前五時、(なぜ？そんなに早く？)(これから行列で岩国までの切符を買うため)。駅前の焼け残つた建物が進駐軍の宿舎になっていた。その時宿舎から美しいコーラスが……足が動かなくなった。感動して、嬉しくて。そして羨ましくて。曲は「清しこの夜」。二十四日はクリスマス・イブ。オルナイトで聖夜を送つたのであろう、それはそれは美しく、重厚な混声合唱だった。それを聞いたとき、一番強く感じたことは、日本が負けたの、これだけでもわかるということ。「早う来い」。父の声でやっと駅に向かった。もっともつと聞きたかった。

○食料不足でまだ配給制度である。母に頼まれて、配給所に行き、品物を受け取り、小さい車に乗せて、ゆるい坂を押しながら我が家に急いでいた時、後ろから一人の黒人兵がついて来る。カッカッ靴

音をひびかせて近づく。やがてニューツと片手をのびし、いっしょに押してくれた。ま、その時見た手の黒い事、おまけに毛むくじやら。顔など見る勇氣なし。私の両手と彼の片手で坂道は楽に上がった。おそろしくてドキドキ……。でも「サンキュウ」だけはいった。黒い手をちよつと上げてヒラヒラさせ、はなれで行った。

あーっ！へなへなと座りこみそうだったのを思い出す。

○私達の時は「家政」といつていたが、今の家庭科だろう。調理実習などする設備はないので、先生がプリントした献立表で家で作り、そのレポートを提出することになった。料理名は忘れたが、大根をすりおろして絞るといふ過程があつた。その時の先生の説明指導は次の通り。「絞つた汁は、ジースターゼいっばいです。捨ててはいけません。その場ですぐ飲みなさい。」隣の級友と目があつた。「まあー。」と無言の抗議。飲んだか捨てたか？記憶にございませぬ。



終

ゆめサロン

便り

平成 28 年

9 月 21 日

吉賀町ゆめサロン

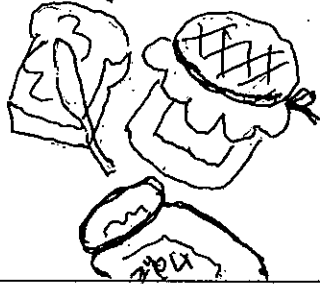
No. 328

台風十六号

テレビで拝見しましたが、酷い爪跡を残して、いったらしいですね。皆様お変わりありませんでしょうか。お見舞い申し上げます。私の方は大丈夫でした。もう酷いものが来ないことをお祈りいたします。



クッキング



健康食です。にんにくと玉ねぎとレモンで作るのだそうです。臭くないそうです。お試しください。

(以下参照)

材料

玉ねぎ 五百グラム

にんにく百グラム

水 百 ミリリットル

砂糖 六十グラム

レモンの搾り汁 大匙二

つくり方

○ 玉ねぎは皮をむき、上側と根を切り落とす(玉ねぎは大きい時は二三等分する)

○ 耐熱ボールにそれらを入れ水を注ぎ両端をあげてラップし電子レンジで十二分加熱する(600w)(ニンニクも皮を取っていっしょに)

○ 汁も一緒にミキサーに移し入れ砂糖レモン汁を加え滑らかになるまで回す。

○ 耐熱ボールにうつし、ラップをせずに電子レンジで六分加熱する。

○ 暑いうちに完全に乾燥している瓶に移し、ふたをする。

常温で一か月、開封後冷蔵で二か月保存できる。村上祥子の忍たまジャム健康レシピより



上記 免疫力アップ がん予防 高血圧 糖尿病改善

ダイエット、美肌他だそうです。お試しください。

お味噌汁に入れたり、トーストに塗ったり料理に入れたり、一日二さじ食べれば良いそうです。

あの世のはなし



私がお世話になった偉いお坊さんが言われました。

よくあの世が地獄と言うけどそんなことはないよ。この世が地獄なんだよ、と。

地獄がこの程度ならまあいいかあといつていたのですが今考えると確かに地獄はあったなあ。と思ったり・・・あの世は極楽だそうです。ま・かえったひとがいませんかからね。



あることです。



皆様お元気ですか
この前は、素敵な投稿を頂いたのであるこは失礼しました。でもあるこもストレスがたまりません。あのうるさい飼い主のもとでは我慢ならなので暫くはなれに避難しました。ところがうるさく見に来るので、なつこさんという一升瓶にドレスを着せた人形のそに身を隠しました。ところがなんと・・・聞こえたのです。飼い主の声です。あるこは家賃滞納、食費滞納の下宿人だと・・・。飼い主の娘がかばってくれました。邪気を払って気を入れるのが猫の役割、これだけでも、手がかかるのよ。と倉敷から知らせてくれたのです。わかってくれる人がいる、我慢しようと思えました。寒さにこらえきれず帰ることにしました。帰ったらすぐに捕まり洗面所で洗われました。その気持ちのいいことひと月近い離れでの生活に終符をうち、飼い主の機嫌をとります。また聞いて下さい。 一きげんよう

ゆめサロン

便り

平成 28 年

9 月 27 日

吉賀町ゆめサロン

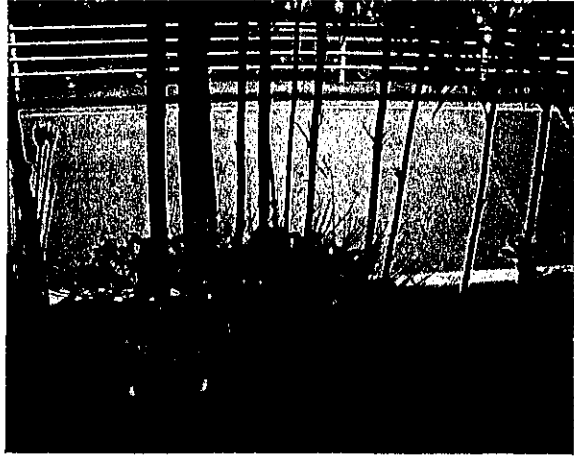
No. 329

お彼岸も

いきました。



みなさまお元気ですか。通る風にも、何か淋しさを感じる今日この頃は、でも涼しくなったということ。ストレスが少なくなったのです。ね。いい秋を楽しみましょう。木犀の香りが今、香って来ました。



たまおさん



猫ちゃんですが、雄猫で、首輪は鮮やかなピンクです。ずんぐりむつくりで私の様です。さてその猫はお家にも餌をちゃんと与えておられるのですが、他所の家の方に興味があるらしく時間を計ったように、他所の家に行き、戸があくまで決まった場所です。勿論すきあらば、うちにも入ってきて餌を食べます。それがたまおさんの楽しみらしいです。

ねずみ



うちの猫が体調を崩して暫く狩りをしていません。そんなある日の夜私の顔を見ながらフローリングを走って行きました。ねずみです。うちに猫がいるのに失礼な話です。あくる日の夕方お風呂に水をためようとして浴槽を見ましたらあのねずみが浴

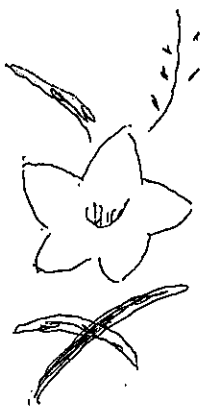
槽から上がられなくなって、中をちよろちよろ走っていました。我が家は舐められたものです。夫が火箸ではさんで外に逃がしてやりました。

思い出



木犀の香りがしてくると、子供たちが小さかった頃を思い出します。小学校からプラスバンドの軽やかな音色が聞こえてくると、心がうきうきした日々。

今、誰もいない部屋で、思い出にふけり、アルバムをめくる。空は青く、シラサギが飛んで行つた。明日は雨になるのだろうか。



ペットの

あるこ



皆様お元気ですか。

あるこは寄る年波には勝てずこの二か月は大変でした。弱ったと思えばねずみまでが馬鹿にして、ちよろちよろでてくるのだそうです。

あるこは、この頃は毎朝入浴です。朝寝、朝酒、朝湯の中の酒だけはやりません。今日は二回も入浴しましたその後、ドライヤーをかけてくれます。早く乾かさないと風邪をひくからねと飼い主が言います。飼い主の長男と言うのが、「可哀想な猫だねえ、掃除機はかけるわあ、ドライヤーはかけるわあ、たまらんねえ」と同情してくれませんが、いいんです。これも優しさと思えば我慢できます。第一気持ちがいいんです。

秋の日、あるこは窓辺で、木犀の香りに包まれて、まごころみます。やせ細ったあるこを秋風が撫でていきます。ではまたごきげんよう。